

# 養父市公式ホームページリニューアルしました

12月1日から市公式ホームページが新しくなりました。

人生のさまざまな場面別に探すことができます。



**■情報がより探しやすく**  
ページの上部の「暮らしの情報」や「観光・イベント」などのボタンから、必要な情報を探すことができ、また「人生のできごと」のボタンからは、

**■新機能が追加**  
360度パノラマビューでは、市の名所や施設を、マウスの操作だけで、その場にいるように眺めることができます。また、市広報を画面上で本のように読める「電子ブック」を導入しました。

**■デザインを一新**  
新緑の緑を基調とした明るくさわやかなデザインとなりました。また、スマートフォンから閲覧した際、専用の画面に自動的に切り替わります。

**■掲載希望者を募集中！**

市公式ホームページには、広告主様のホームページにリンクする広告画像（バナー）を掲載する欄をトップページに設けています。トップページのアクセス件数は年間60万件です。多くの人の目に触れますので、事業やイベントなどのPRや企業のイメージアップに効果的です。

さらに、これまでより広告掲載箇所を増やしていますので、ぜひご利用ください。

**【バナー広告募集要項】**

- 掲載場所（2カ所）
- 掲載枠／10枠
- 掲載期間／原則1カ月単位※連続掲載は最大24カ月まで

**■広告の規格**  
高さ＝天地50ピクセル幅＝左右150ピクセルデータ容量＝5KB以下データ形式＝JPEGまたはGIF ※静止画のみとします。

**■広告料（月額）**

・1カ月以上6カ月以下	＝10000円
・7カ月以上12カ月以下	＝9000円
・13カ月以上24カ月以下	＝8000円

**■申込方法**  
ホームページから申込書をダウンロードして必要事項を記入し、バナー広告案を添えて、企画総務部秘書広報課に提出してください。

**■広告掲載にかかる審査**  
バナー広告の掲載にあたって、養父市広告掲載基準および養父市広告掲載要綱に基づいて審査したうえで掲載します。

**▼お問い合わせ**

企画総務部秘書広報課  
(☎ 662-3168)  
【市公式ホームページ】  
<http://www.city.yabu.hyogo.jp>

## 移住定住希望者のマイホーム取得を応援します。

# 最大90万円の奨励金を交付

養父市では、市内への定住

人口の増加と地域の活性化を促進するため、市内において新築住宅を取得した人、または空き家を購入した人に定住奨励金を交付しています。

詳しくは、市民協働課へお問い合わせください。

は空き家を購入した人に定住奨励金を交付しています。

詳しくは、市民協働課へお問い合わせください。

■対象者／次の要件にすべて該当する人

○市内に居住し、住民基本台帳に登録されている人

○市税および市の各種使用料など完納している人

○満40歳未満の人（U・I タイプ）

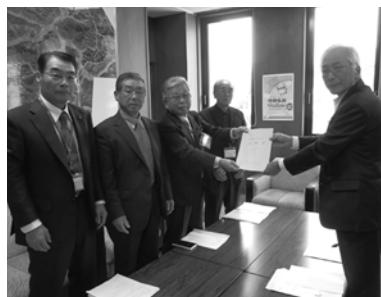
※官公署に勤務するもので定年適用を受ける人は交付対象となりません。

### ■対象となる住宅

「新築住宅」新たに建築した住宅で、延床面積70平方メートル以上、玄関、居室、便所、浴室および台所を備えたもの「空き家」現に居住していない住宅（または、近く居住しない住宅）

奨励金の種類	住宅を新築した場合	空き家を購入した場合
・新築等奨励金 ・空き家購入奨励金 ・増改築奨励金 ※増改築費が100万円以上	50万円 — —	— 50万円 25万円
・定住奨励金 ※U・I タイプのみ	15万円	15万円
合 計	65万円	90万円

(注) 上記の交付額は最大額を示したものであり、該当地区的高齢率や申請者の家族数等により交付額は変動します。

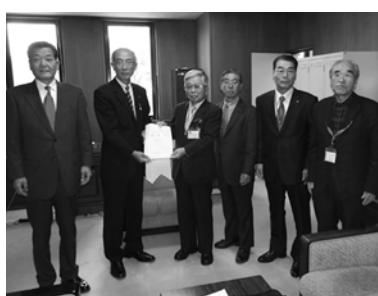


広瀬市長へ建議書を提出

市民生活部市民協働課（☎ 62・7601）または最寄りの地域局まで

- ◇建議の主な内容
  - ①有害鳥獣対策の推進
  - ②耕作放棄地の有効利用の推進
  - ③農用地区域の明確化
  - ④担い手等への支援
  - ⑤環境創造型農業の推進
  - ⑥畜産振興の推進
  - ⑦6次産業化の推進

- ・朝倉さんしょ等の栽培見直し
- ・農用地区域の明確化
- ・子どもたちの農業体験の推進



勝地議長へ建議書を提出

◇兵庫県への建議について

農業委員会は、兵庫県に対しても「平成25年度兵庫県農業・農村施策に関する建議」のための意見・提案・要望書を提出します。



ご飯を食味する委員ら

# 農業委員会だより

☎ 664・1450

## ◆第5回お米食味会を開催

農業委員会では、地元で採れたお米への意識を高めようと、11月27日に第5回お米食味会を開催しました。

農業を取り巻く状況はますます厳しい中、11月13日、養父市農業委員会の太田会長ほか役員3人は、農業者の利益代表機関として、平成25年度の予算編成に向けた農業施策に対する建議書・要望書を市長および議長に提出しました。

当日は、但馬産のお米を中心を集められた10品目を、市長、議会副議長と農業委員が、食べ比べて審査し、今回は食味計を用いて「おいしさ」の値を測定しました。

その結果、香住区産かにのほほえみ、養父地区産コシヒカリ、八鹿町八木産蛇紋岩米が上位3品目に選ばれました。

参加した給食センターの栄養教諭は、「給食のご飯は養父市産100%。これからも香りのよい、おいしいお米を食育に役立てたい。生産者のみなさんに感謝しています」と話していました。